



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸の言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

東日本大震災を通して

数学科 相良 敏夫

2011年3月11日14時46分、その時は突然訪れた。携帯電話の緊急地震速報がけたたましく鳴ると同時に、これまで体験したことのないような激しい揺れが襲ってきた。学校の校舎が崩れ落ちるのではないかとと思うほどの大きな揺れで、人生で初めて命の危険を感じた。揺れは5分くらい続いたのだろうか。職員室の机や書類は手の施しようのない状況で、体育館の天井からはボールが落下しており、プールの水は溢れ出していた。当時、人事交流で福島県の高校に勤務していた私は、この未曾有の大震災に直面した。マグニチュード9.0、最大震度7、死者・行方不明者2万2000人余り、まさに戦後最大の自然災害となった。

私の住んでいた会津若松市は津波の直接的な被害は受けなかったが、福島第一原子力発電所の事故による影響は深刻だった。放射能の影響を恐れ、家族は鹿児島に避難した。勤務する学校は休校になり、やがて体育館が避難所となった。教職員が交代で24時間避難所の運営にあたり、炊き出しや支援物資の配布等、赤ん坊からお年寄りまで約3000人の世話を行った。ガソリンや食料品も不足し、生活に大きな影響を与えた。それまで当たり前だった日常が、一瞬にして奪われた。

福島県でも、約16000人の尊い命が失われた。その中に、自分の両親、中学生の息子、高校生の娘、夫を亡くし、家も流され、人生のすべてを一瞬にして失ったという、ある女性がいた。その方が生徒達へ贈ってくれたメッセージを紹介する。

えがたいものであるということに刻み、自分の置かれた環境での日常を大切に過ごしてください。』



14時46分で止まった閑上中学校の時計



宮城県名取市閑上地区の沿岸部

大震災から約2年後の2013年2月、これまでなかなか足を踏み入れる勇気がなかった被災地を訪問することにした。福島での勤務が終わる前に、直接、自分の目で被災地の現状を確かめようと思ったからだ。訪れたのは宮城県名取市閑上地区。まだ震災の爪痕が残っていたが、一方で復興への歩みは一段と進んでいる。

1・2年生の集団読書より

11月17日(火)、中山祐次郎著『泣く研修医』をテキストとして、1・2年生の集団読書が実施された。各学級で行われる討議の前に、代表者の感想が放送部によって朗読され、加えて今回は、著者の中山先生からいただいたメッセージも紹介された。

【代表者の感想文】 21R 馬場 大晟

「おおかさん、お願い、兄ちゃん」幼い頃に兄を亡くした主人公雨野。彼は兄のような人を減らしたいという一心で外科医になった。しかし、新人医師の毎日は怒られてばかり。それでも、ガムシヤラに日々成長していき、雨野に心を動かされた。その反面、今の自分を思うと恥ずかしく、今のままではいけないと強く感じさせられた。高校入学時は雨野のように私にも夢があった。その夢を叶えるため、必死に勉強してはいたはずだった。いつの間にか、夢を指す熱い気持ちはどこかへ去っていった。ただ楽な方へ楽な方へと流される自分がいた。心のどこかではいけないと思いつつも、心の弱さを打ち勝つことはなかった。ただひと月何も考えずに授業を受ける年、私は時間を浪費していた。気が付けば受けたのが雨野だ。彼の夢に向かって必死に頑張る姿、何で怒られようと、諦めず、努力を続ける姿。今の自分に最も必要な姿がそこにはあった。彼の日々は忙しく大変であるにも、充実しており、輝いていた。高校生活にしろ、社会人生活にしろ、真の意味で充実した日々というのは、どんなにきつても、諦めず、夢に向かって進んでいくこと、そして必死に努力すること、そして最後に、私と主人公雨野から皆さんへ応援のメッセージです。わたしは中山祐次郎は、40歳になる今までずいぶんたくさんの挫折をしてきました。中学・高校時代に書いた文章は、一度も先生から褒められませんでした。失恋もたくさんありました。大学受験に2度失敗し、2年も浪人してしまいました。大切な友人を亡くしてしまいました。小説も何度もボツになりました。主人公の雨野もまた、兄を亡くし、医者になってもがき苦しんでいます。これからは雨野には多くの苦しい試練が待ち受けています。鶴丸高校の皆さんに、辛いことや苦しんでいることがあるのでしたら、ぜひ読んでほしいです。

【著者からのメッセージ】 鶴丸高校の皆さん、初めまして。私は「泣く研修医」の作者の中山祐次郎と申します。このたびは、名門鶴丸高校の集団読書で私の書いた小説「泣く研修医」を読んでもらったこと、ありがとうございます。作者として、心から嬉しく存じます。鶴丸高校は私の叔母の出身校でもあり、また、私の出た鹿児島大学医学部にもたくさんの方々がいます。鶴丸高校の皆さんに読んでほしいです。この作品「泣く研修医」は、私が鹿児島大学医学部にいた頃のことを思い出しながら書きました。ここだけの話ですが、主人公雨野隆治（あめりゅうじ）の実家のさつま揚げ屋のある場所、私が鹿児島にいた頃住んでいた場所です。また、雨野は私ではなく、もっと無骨で純粋な鹿児島人の友人たちをイメージしてキャラクターを作りました。私は現役の外科医でもありません。昨日も、今日も、明日も手術をしています。だからこそ、この小説は現役の外科医にしか書けないようなリアルさにとどめて書きました。救急患者や手術シーンなども楽しんでいただけると幸いです。

桜島路を力の限り駆け抜けて 第68回ロードレース大会 11月12日(木)、秋晴れの桜島溶岩グラウンドにおいて、第68回ロードレース大会が開催された。体育の授業で約1カ月間にわたって走り込みを続けてきた成果を発揮すべく、ランニングコースを各々のペースで駆け抜けた。授業での練習の成果を発揮し、無事に出走者全員が完走を果たした。今回も、PTA保健部の役員の方々の手助けをいただいた。また、密集を避けて乗船する桜島フェリーの便をクラス単位で割り当てるなど、入念な感染対策を取りながら行われた大会となった。なお、男女各学年の成績は次のとおり。

Table with 3 columns: Year/Category, Rank, Name, Time. Includes 1st year girls, 2nd year girls, 1st year boys, 2nd year boys, and PTJ (PTA保健部).

12月の行事予定

Calendar table for December with columns for Date, Day, Event, Class Time, and School Lunch.



雄大な桜島と保護者の拍手を背中に感じながら